

質疑回答書

2021（令和3）年5月21日

件名：鉄道事業再構築実施計画中間見直し策定業務委託

質 疑	回 答
<p>1 この業務の成果は、「鉄道事業再構築実施計画（見直し計画）の伊賀市案」でしょうか。それとも国土交通省中部運輸局や国土交通省鉄道局との協議、認可を終えた「決定稿」でしょうか。（業務スケジュールの検討に影響するため）</p>	<p>1 成果は伊賀市案で納品してください。なお、10月頃に中間案、1月頃に完成案を策定したいと考えています。</p>
<p>2 現行の鉄道事業再構築実施計画は、伊賀市のほか近畿日本鉄道株式会社等も作業の上で策定されたと聞いています。今回の見直し作業段階で、意見聴取等で参画する団体はどのような想定でしょうか。（会議や意向把握等の工程の要否を検討するため）</p>	<p>2 伊賀鉄道株及び近畿日本鉄道株のほか、企画提案書を踏まえ、必要な関係者や関係団体への意見聴取等を想定しています。なお、本計画の見直しは伊賀市地域公共交通活性化再生協議会の承認が必要となります。</p>
<p>3 現行の鉄道事業再構築実施計画では、策定当時から10年間の収支予測や修繕計画等の経営計画が記載されています。人口増加率や社会的割引率の設定や説明変数の設定、前提条件など当時の予測に用いた手法を教えてください。（業務内容③、④、⑥で求められる技術への当社での対</p>	<p>3 当初の収支予測の考え方は、鉄道事業再構築実施計画「伊賀鉄道の運営に関する概要書」に記載のとおりです。</p> <p>中間見直し策定業務における収支予測等における手法や考え方は、受託業者と協議のうえ決定します。</p>

<p>応可否の見直しをつけるため)</p> <p>4 計画策定に際しての作業部会や検討委員会、あるいは関係省庁との協議等は本業務に含まれないと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>5 参考データ「伊賀鉄道伊賀線の過去3年間の経常損益と輸送人員」では、概ね計画値よりも実績値が下回っており、差が拡大している傾向が見て取れますが、今回の見直しでは、そうした実情を踏まえて下方修正を行い、それを前提とした検討となるのでしょうか。</p> <p>6 仕様書「(3)再構築計画の評価及び内容の見直し ⑥コスト縮減案と鉄道施設の長期修繕計画の策定支援」について、「鉄道施設の長期修繕計画(2022年～2036年)」は、策定それ自体が本業務に含まれるのでしょうか。それとも、策定にあたっての助言を行うということでしょうか。(「鉄道施設の長期修繕計画」については、関与の度合いによって大きく業務量が増えるため)</p>	<p>4 仕様書「Ⅲ業務の内容 (5)打合せ協議」に記載のとおりです。 業務遂行に必要と判断した場合は、監督員の指示により同行願います。</p> <p>5 仕様書「Ⅲ業務の内容 (3)再構築計画の評価及び内容の見直し」に記載のとおりです。 様々な視点で収支予測を行い、収支計画の見直しをお願いします。 参考データ以外に見直し検討に必要な資料で、本市及び伊賀鉄道(株)で対応可能なものはご用意します。</p> <p>6 長期修繕計画は、主に委託者側で策定します。策定にあたり、技術面や事務の支援をお願いします。</p>
---	--

※この回答に対する質問は受付できません。